特集

School Sports 表敬訪問

町出身スポーツ選手

それぞれの競技にかける思い

10月2日、中学生・高校生の5人の選手が岩田町長のもとを表敬訪問し、各競技への思いや今後の抱負を語りました。





▼写真下段左から、杉本一之助さん、八幡真希さん、八幡紗希さん、高森幸加さん、遠藤隼人さん
写真上段左から、向後副町長、岩田町長、石橋教育長、東庄中学校　土屋校長





土屋 美潤さん

宿浜・日本体育大学2年

関東学生陸上競技対校選手権大会4位
日本学生陸上競技対校選手権4位
関東学生新人陸上競技選手権大会
三段跳1位・走幅跳3位



三段跳/走幅跳

陸上

私にとって陸上競技とは日常生活の一部であり、自分自身を成長させてくれるものでもあります。競技に取り組む中で、自己ベストを更新した時や目標順位に達した時は、大きな喜びや楽しさを感じます。しかし、怪我で思うように練習ができず、モチベーションを保つことの難しさもあります。それでも、いつも支えてくださる指導者の方々、家族や友人、応援してくださる皆さまへの感謝を忘れず、これからも競技を楽しみながら、さらなる記録の向上を目指していきたいです。



遠藤 隼人さん

小南・東京学館高校3年

千葉県高等学校総合体育大会陸上競技大会2位
関東高等学校陸上競技大会5位
インターハイ出場



ハンマー投げ

陸上

私はハンマー投げ選手としては、身体が小さく力も乏しいため競技面でハンデがありますが、2年時の県総体で味わった悔しさを原動力に、努力を重ねてきました。小柄な体を補うため、体幹強化とスピードを生かした技術磨きに専念した結果、インターハイ出場という夢を果たせました。本番では緊張から納得のいくパフォーマンスができず悔しさが残りましたが、この経験は大きな成長の糧となりました。10月23日のU-18大会では、舞台の雰囲気にのまれず自分の強みを最大限に発揮し、納得のいく結果をつかみ取るため、気持ちを切り替えて挑みます。



高森 幸加さん

小南・東庄中学校3年

千葉県中学校総合体育大会陸上競技の部1位
全日本中学校通信陸上競技大会1位
関東中学校陸上競技大会3位
全日本中学校陸上競技選手権大会10位

走り幅跳び

陸上

県通信・県総体ではとても調子の良い中、自分の思い通りの跳躍ができ、去年からの「県大会で1位になる」「全国大会出場記録突破」という目標も達成することができました。しかし、関東・全国大会は思い通りにいかず、特に全国大会であと一歩の所で決勝を逃してしまい、とても悔しかったです。 家族や友人、チームメイトなどたくさんの方に応援をしてもらえた事に感謝し、高校ではインターハイで活躍できるような選手になりたいので、今まで以上に努力をしていきたいです。

